

横須賀ごみ処理施設
整備実施計画
【概要版】

平成25年3月

横須賀市

実施計画策定の目的

本計画は、平成23年3月に策定した「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」及び同年8月に策定した「新ごみ処理施設施設整備基本計画」に定める基本事項を踏まえた上で、地域の状況や立地条件等を十分に把握し、経済的で安定したごみ処理施設の整備に向けて、排ガスの自主基準値に対する処理対策をはじめ、発電を主体とした余熱利用計画、施設配置計画等について詳細に検討し、建設工事の発注仕様書等作成時の基礎資料とすることを目的としてとりまとめました。

基本方針

今回の横須賀ごみ処理施設建設事業は、安全・経済性・環境に十分配慮した施設を目指して、以下に示す基本方針を基に施設整備を進めることとします。

○ 安全で安心、長期の安定稼働を目指す施設

- ・ごみ処理における最大の住民サービスは、毎日発生する家庭ごみを支障なく処理することです。そのため、トラブルが少なく、維持管理が容易で長期間の耐用性に優れた設備を導入し、長寿命化に留意した施設とします。
- ・市民の安全・安心を確保するため、運転監視と日常点検につとめ、計画的かつ効率的な維持・補修により、予防保全も強化しながら、高い安定性及び信頼性を有する施設とします。
- ・情報を積極的に公開し、情報の透明性を確保すること及び施設の安全性をアピールすることで、市民との信頼関係を築き、身近で親しみの持てる施設とします。

○ 経済性に優れた施設

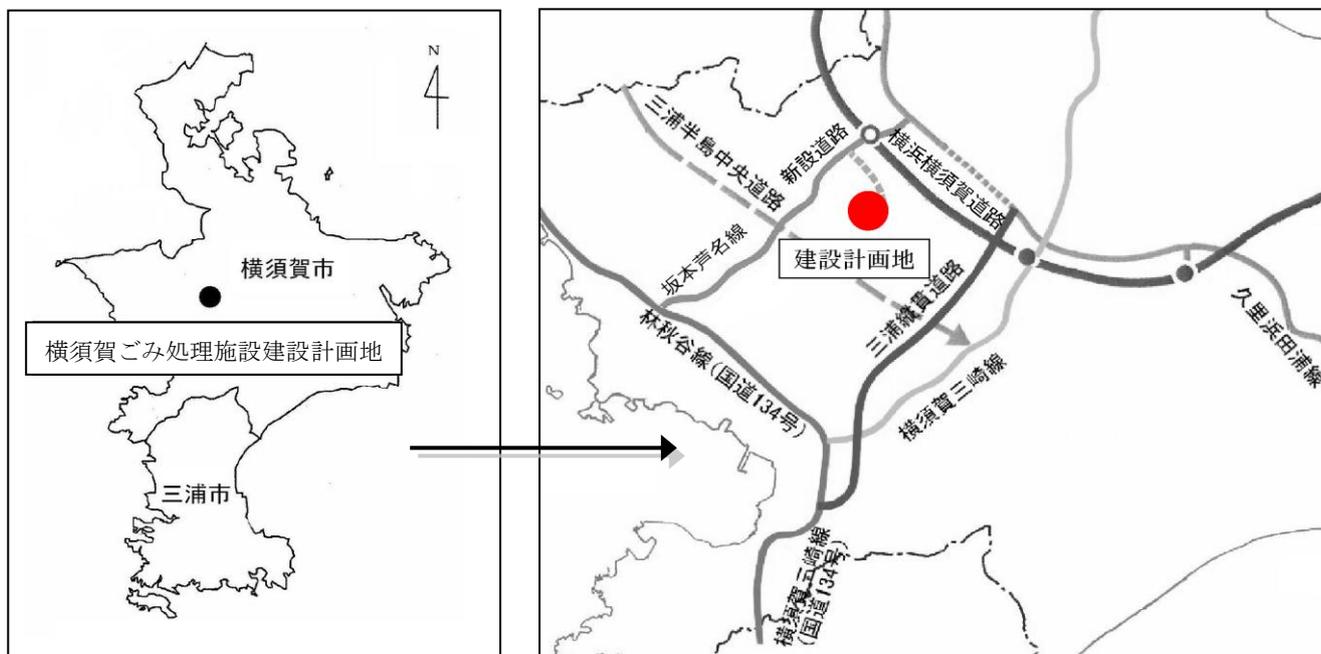
- ・施設の建設から運転管理に至るまで、ライフサイクルコストの低減を意識した施設とします。

○ 周辺環境に配慮し、循環型・低炭素社会に寄与する施設

- ・信頼性の高い排ガス処理設備の導入や、適切な運転管理の継続により、環境保全に取り組む施設とします。
- ・焼却に伴う熱を利用して、主に発電を行うことで、施設内で消費される電力の一部をまかない、さらに余剰分を電力会社に売却することや、施設に必要な熱源に利用することで、温室効果ガスの排出量を削減して循環型、低炭素社会に寄与する施設とします。

横須賀ごみ処理施設の建設計画地

横須賀市長坂 5 丁目 3878 番地ほか（不燃ごみ減容固化施設周辺）



建設計画地の地域地区等の概要

建設計画地	横須賀市長坂 5 丁目 3878 番地ほか
都市計画区域の内外の別	都市計画区域内 市街化調整区域
防火地域	指定なし
その他の区域、地域、地区	衣笠大楠山近郊緑地保全区域 衣笠大楠山風致地区（第 4 種） 建築基準法第 22 条指定区域 宅地造成工事規制区域 神奈川県地域森林計画対象区域 （公共下水道処理区域外）
用途地域	指定なし
指定容積率	10 分の 8
指定建ぺい率	10 分の 4

安全で安心、長期の安定稼働を目指す施設

◆ 処理方式について

○ 可燃ごみの処理方式

本市では運営方式を公設公営で行うため、可燃ごみの処理方式については、全国の採用実績をはじめ、本市の運用実績、長期連続運転の実績があるストーカ式焼却炉を3炉構成で計画します。

○ 不燃ごみ等の処理方式

不燃ごみ等は破碎選別を行い、一次破碎に低速回転破碎機、二次破碎に高速回転破碎機、選別機は回転式の採用を基本とします。また、鉄、アルミを資源化するために磁選機、アルミ選別機を計画します。

廃プラスチック類等は、分別区分を可燃ごみに変更して、焼却施設で焼却処理を計画します。

◆ 耐震構造について

横須賀ごみ処理施設では、震災時（想定震度7）において、建築物が耐え得ることを目標とし、2週間以内に再稼働可能な施設・設備を計画します。

経済性に優れた施設

○ 最新のごみ量を考慮し、ごみの減量化（資源化施策、産廃規制）を見込んだ施設規模を算定し、建設費及び維持管理費の低減を図ります。

本計画にて算定した施設規模は、焼却施設においては約360t/日、不燃ごみ等選別施設においては約30t/日とします。

○ 本計画では、緑地保全地区の観点からも、極力切土を少なくし、山林に馴染むように景観保護を図るなど、造成面積を少なくし建設費の低減を図る施設を計画します。

○ 積極的なサーマルリサイクルを行い、高効率ごみ発電施設による売電収益を計画します。

◆ 公害防止基準について

○ 大気

排ガスの主要5項目については、法令規制値等より厳しい数値を自主基準値として下記のとおり設定します。

自主基準値（排ガス）

項目	法規制値等	自主基準値
ばいじん	0.04g/m ³ N 以下	0.005g/m ³ N 以下
塩化水素	430ppm 以下	10ppm 以下
硫酸化物	約 100～1,000ppm 程度 ※	8ppm 以下
窒素酸化物	250ppm 以下	20ppm 以下
ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/m ³ N 以下	0.005ng-TEQ/m ³ N 以下

※ 硫酸化物の ppm 換算は施設の設計条件（煙突高さ、煙突内筒口径、排ガス温度、排ガス量等）を基に算出した推定値です。

※ 検証方法は計量証明書の数値を基本とします。

上記以外については、神奈川県生活環境の保全等に関する条例の規制基準を適用します。

また、煙突の高さを 59m で計画します。

○ 水質

排水については、生活系排水、プラント系排水、ごみピット系汚水に分けて適切な処理を行い、場内での再利用を考慮し、下水道に放流する計画をします。

本計画における水質についての公害防止基準値は、下水道法及び下水道条例の排除基準を適用します。

○ 騒音・振動・悪臭

騒音対策では、低騒音機器の採用や、単独の部屋に収納するなどを計画します。

振動対策では、低振動機器の採用や、防振材の支持による伝播防止などを計画します。

悪臭対策では、発生場所を負圧にすることで、外部への漏れを防ぐよう計画します。

本計画における騒音、振動、悪臭についての公害防止基準値は、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法、神奈川県生活環境の保全等に関する条例の規制基準を適用します。

騒音の規制基準（敷地境界基準）

区分	昼間 午前8時～ 午後6時	朝・夕 朝：午前6時～ 午前8時 夕：午後6時～ 午後11時	夜間 午後11時～ 午前6時
その他の地域（用途地域の指定のない区域）	55 dB 以下	50 dB 以下	45 dB 以下

振動の規制基準（敷地境界基準）

区分	昼間 午前8時～午後7時	夜間 午後7時～午前8時
その他の地域（用途地域の指定のない区域）	65 dB 以下	55 dB 以下

悪臭の規制基準（敷地境界基準）

区分	規制基準
第2種区域	臭気指数 15

規制対象は農業振興地域を除く本市全域

◆ 排ガス処理設備について

ばいじん、塩化水素、硫黄酸化物、窒素酸化物、ダイオキシン類の自主基準値に対応できる排ガス処理設備を採用します。

◆ エネルギーの有効利用について

○ 熱エネルギー

横須賀ごみ処理施設では、焼却処理の過程で発生する膨大な熱エネルギーの積極的なサーマルリサイクルを行うこととし、高効率ごみ発電施設を計画します。

さらに、余熱は施設に必要な熱源にも有効利用し、省資源化及び地球温暖化防止に貢献します。

○ 自然エネルギー

太陽光等の自然エネルギーについては、導入効果を考慮し計画します。

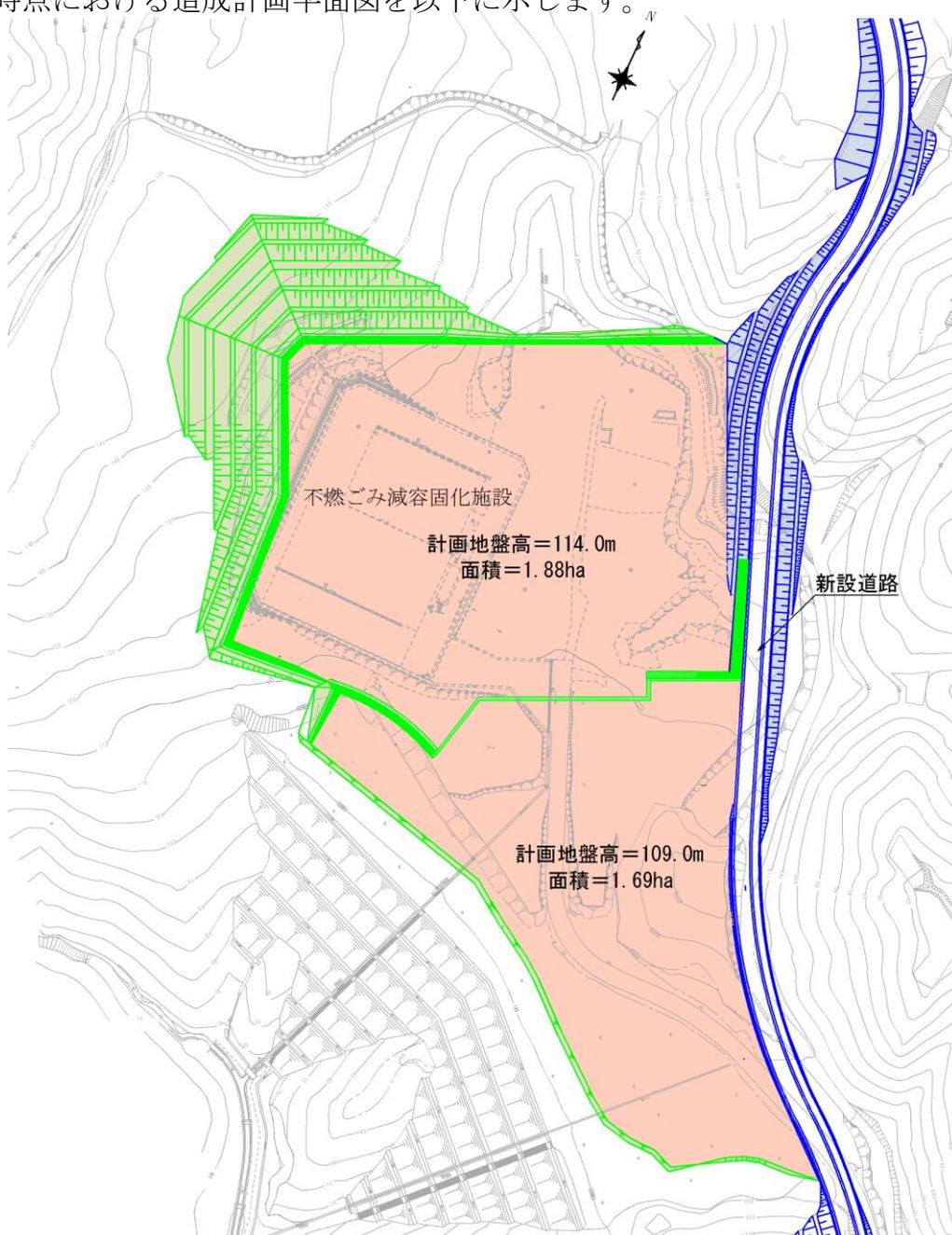
◆ 周辺環境に配慮した緑化について

建設計画地は、衣笠大楠山近郊緑地保全区域、衣笠大楠山風致地区及び神奈川県地域森林計画対象区域に位置し、開発区域には樹林地が多いことに配慮し、敷地内に極力、既存の森林を保全することを目標とした緑化計画とします。

造成計画

- 既存の不燃ごみ減容固化施設の敷地を最大限考慮した計画を行なうと共に、将来における施設に対する需要の変化にも対応できる計画とします。
- 周囲の景観との調和並びに経済性に配慮し、計画地に残る傾斜地の利用に努め、発生土量の低減を図ります。
- 坂本芦名線から整備する新設道路計画に十分配慮します。

現時点における造成計画平面図を以下に示します。



造成計画平面図 S=1:2,500

事業費

○ 建設費

プラントメーカーより提出された概算建設費と敷地造成等の概算建設費を整理し以下に示します。

焼却施設：約 190 億円 不燃ごみ等選別施設：約 26 億円

敷地造成等：約 13 億円 合計：約 229 億円

※付帯施設等の建設費を含みます。消費税は含んでいません。

○ 維持管理費・売電収益

プラントメーカーより提出された概算維持管理費、売電収益を整理し以下に示します。

維持管理費：約 6.4 億円 売電収益：約 1.8 億円

※維持管理費は、施設稼働後20年間の総額の年平均。

人件費及び消費税は含んでいません。

なお、発電量はプラントメーカーより提出された資料より、最大約 10,000 kW を想定しています。

施設整備のスケジュール

事業スケジュール

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
実施設計		造成設計	施設設計				
造成工事		造成工事					
建築工事				建築工事			
プラント設備工事					プラント設備工事	試運転	稼働

お問い合わせ先

横須賀市資源循環部広域処理施設建設室

〒238-8550 横須賀市小川町 11 番地

TEL : 046-822-9390(直通) FAX : 046-824-5630

E-mail ef2-ed@city.yokosuka.kanagawa.jp

ホームページ <http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4240/shingomisyorishisetuindex.html>

発行年月 平成 25 年(2013 年)3 月

横須賀が好き!



YOKOSUKA CITY SINCE 1907